

Soccer News Shiga

サッカーニュースしが

[発行] (社)滋賀県サッカー協会
 [責任者] 専務理事 奥村 弘
 〒524-0212 滋賀県守山市服部町2439
 ビックグレイク内
 TEL 077-585-0982
 FAX 077-585-0983
 e-mail shigafa@oregano.ocn.ne.jp
 URL http://www.shigafa.com

[印刷] 株式会社スマイ印刷工業

滋賀からJリーグへ! 世界へ!!

乾 貴士 選手

セゾンFCから野洲高校へ。今春横浜Fマリノスへ入団。
U-21日本代表に選出

日中韓サッカー U-21代表交流戦

2006.11.14 (韓国・昌原スタジアム)

韓国戦に、後半33分から出場

2006.11.21 (日本・東京国立競技場)

韓国戦に後半42分から出場

U-21日本代表でプレーして

野洲高等学校 乾 貴士

乾貴士選手のU-21日本代表選出に際して

野洲高等学校サッカー部監督
山本 佳司

僕はU-21日本代表に選出されてとてもビックリしたが、韓国との試合に出場することができて本当に貴重な経験ができた。プレッシャーの速さ、意識の高さ、そして一番感じさせられたものは体の強さだった。U-21の中でも一番小さくて体の弱かった僕は、当たられると何もできなくなってしまった。プロに進んでも必ずそこは同じことになるのはわかっている。でも、僕はその時に自分のいい所を出せば通用するということわかった。

体の小さい僕のようなプレーヤーは、相手の背後をどのようにしてできるだけ早くとれるかが重要になってくる。僕にそれを教えてくれたのは、セゾンFCの岩谷監督だった。岩谷さんにお会わなかつたら、今の自分はない。本当に感謝しています。そして、野洲のサッカー部のみんなや僕を応援してくれた人達や家族のおかげでこんなにいい経験ができました。

これからはその経験を活かして、セゾンFC、野洲高校サッカー部のために僕が必ず活躍して恩返しをしたいと思っている。そして、体の小さな小学生や中学生に体が小さくても通用するということをしっかりと証明したい。これからもこの気持ちだけは忘れずに頑張っていきたいと思う。

近藤 岳登 選手

愛知産業大学附属三河高校出身
びわこ成蹊スポーツ大学で1年生からFWのエースストライカー、ゲームキャプテンとして試合に出場、関西学生選抜にも選ばれる。今春、大学卒業とともにヴィッセル神戸へ入団。

大学4年間は常に目標や夢を追い続けた情熱の4年間だった。サッカーのプロになり、青年海外協力隊に参加し世界の子どもたちにサッカーで夢を与える。そんな目標や夢を実現させるために走り続けた最高の4年間だった。目標や夢をしっかり持つことの大切さ、そしてその目標や夢を実現させるためには自分との闘いに負けないこと、運命は自分で切り開いていくということ、そのためにはチャレンジを恐れないこと、自分に自信を持ち自分を好きになること、サッカーを通して様々なことを学び、気付けばサッカー=自分になっていた。「NO SOCCER, NO LIFE」というチームのモットーを掲げ、サッカーで自分を形成してきた。松田監督に出会い、限界は自分で決めるものだと何度も言われ、自分の甘さを徹底的にたたかれた。厳しい言葉は自分のために言ってくれているということにならぬか気付くことができず、反抗的な態度をとることもあった。4年間を通してその言葉の意味に気付き、もっと進化したい、上の

舞台に立ちたい、さらに大きな目標や夢を描くようになった。また「自分自身で夢の実現を信じて努力すれば、可能性は1%もあるんだ。1%の可能性があれば夢は叶う」と教えてもらった。

そして自分を信じた結果、ヴィッセル神戸に入団が決まった。これからさらに大きな目標、夢に向かっての挑戦が始まる。レギュラーに定着し、Jリーグ得点王、そして日の丸をつけ、W杯得点王、世界中の人々に夢を与える選手になる。そしてサッカーを通じて世界を一つにする。これが私の目標、夢である。「I can accept failure... but I can't accept not trying!」

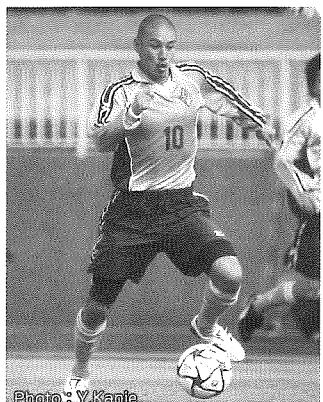


Photo: Y.Kaneko



4種

今年度は、6月に全日本少年サッカー滋賀県大会を開催し、優勝：石山SSS、準優勝：レークウエスト、3位：常盤、4位：唐崎、10月～11月に掛けて滋賀県サッカースポーツ少年団選手権大会（しがぎんカップ）を開催、優勝：信楽、準優勝：守山白鳳、3位：FC SETA、4位：笠縫オレンジボーイズ、同じく11月に全日本少年フットサル大会を開催、優勝：堅田、準優勝：大津JFC、1月には4年生以下によるJA全農杯小学生8人制サッカー大会を開催、優勝：矢倉、準優勝：草津、3位：和邇、4位：上田上、2月には5年生以下による木下杯サッカー大会が開催されます。来年度の予定は、6月に全日本少年サッカー滋賀県大会、10月～11月に掛けて滋賀県サッカースポーツ少年団選手権大会（しがぎんカップ）、11月に全日本少年フットサル大会、1月にJA全農杯小学生8人制サッカー大会、2月に木下杯サッカー大会を開催予定であります。未来の日本代表を目指す子どもたちが一生懸命にプレーをします。是非一度応援に足を運んで下さい。

女子

県女子サッカーのU-12（小学生6年以下）の2チーム（希望ヶ丘SSS、おおつピクトリーズ）は2004年8月の関西大会では7位、9位、2005年8月の関西大会は2位、3位と昨年の8月も2位、3位の上位に入り3年連続全国ガールズ8の出場を決め、2005年2月、2006年2月に出場しました、また本年も2月に3年連続の出場に向けて頑張ります。毎年関西4チームの代表の中に滋賀の2チームが選ばれます。両チームとも全国での第1回（2005年）は26位と30位、第2回（2006年）15位、18位と順位を上げ、今年の2月の全国大会はより上を目指して頑張ります。

また昨年の第11回びわこカップ（近隣府県代表チーム）ではU-12、U-15、O-30、一般、の4つのカテゴリーで準優勝と今までにない良い結果となりました。最後に全日本女子ユース（U-15）選手権関西予選が、昨年に引き続き滋賀のビッグレイクで5月の4日間開催され、全国に向けてシビアな試合が見られます。5/19、20、26、27の4日間是非見てください。

キッズ

今年より県内5各地域のキッズ担当者と4種担当者のメンバーでキッズ委員会を立ち上げ、滋賀県の今後のキッズの普及・育成活動が充実したものにするため、さらにはスポーツ人口の増加を目指した土台作りとして組織されました。各地域での活動・取り組み情報の共有と、今後の課題等について協議しました。

M3.モデルFA

今年度はJFAからの補助金が減少したこともあり、受益者負担をお願いして各園に巡回指導しました。申し込みは減少しましたが（昨年度無料2490回→今年度有料約1500回）、全国でもトップの回数を維持しています。キッズのために行政・園の先生など多くの方々の協力があり普段活動に従事できました。

各年代でキッズフェスティバルを開催し、多くのチームに参加していただき、キッズたちが楽しくグラウンドを駆け回ることが出来る環境づくりに取り組みました。また、キッズリーダー養成講習会も実施し、キッズの普及・育成のために多くの方々が受講してくださいました。今後も滋賀県の基盤となるような活動ができるよう努めます。

M5.リードFA

今年度より県内5地域（湖西、湖南、湖東、湖北、甲賀）でキッズアカデミーを開催し、U-6、U-8、U-10（湖南のみ）のキッズの養成・育成活動を行いました。リードFAではモデルFAとは違い、個々の資質向上と積極的なキッズが育つ取り組みをしました。

今年はさらに4種との連携を図り、キッズの経過状況等の研究にも努めます。

フットサル

滋賀県FAフットサル連盟を立ち上げた2006年度は、県フットサルリーグ1部10チーム、2部11チームの編成で無事、リーグ戦を終了できました。関西フットサルリーグ初昇格を果たしたJOY FUTSAL CLUBが、新規加入で3位の成績をおさめ、また全日本フットサル選手権大会には2年連続で関西代表になって出場し、滋賀のフットサルのレベルの高さを証明し、牽引してくれています。2007年度は、全種別への普及と登録者数の増加、フットサルができる環境の整備、会場確保等いろいろな課題をクリアしなければなりませんが、県リーグのチーム数を今の1.5倍にすることを目標に取り組みますので、ご協力をお願いします。

1種

2006年度は、全国9地域の代表で実施される地域リーグ決勝大会において、関西リーグの代表（滋賀県代表）として「FC Mi-oびわこKusatsu」が出場し、滋賀県初となるJFL昇格を狙って闘っていましたが、JFL昇格最有力候補の岐阜FCに破れるなど、惜しくも予選リーグで敗退し、今一步のところでJFL昇格を逃しました。また、「滋賀FC」も設立2年目のシーズンを迎え、滋賀県1部リーグで全勝優勝を成し遂げ、関西2府4県の代表で実施される府県リーグに滋賀県リーグの代表として出場し、関西リーグ昇格を狙って闘っていましたが、初戦で大阪1位代表の阪南大クラブに破れ、予選リーグで敗退し、関西リーグ昇格を逃しました。しかしながら、ともに滋賀県を代表するチームとして、上位リーグ昇格を目指し、最後まで諦めず闘っていた両チームに拍手を送りたいと思います。

2007年度は、滋賀県にJFLのチームが誕生します。2006年度JFL2位の佐川急便東京SCと3位の佐川急便大阪SCがチーム統合により、チーム名称を「佐川急便SC」として、チーム所在地を滋賀県に移し2007年度JFLを闘うことが決定しました。2007年度から佐川急便守山陸上競技場や皇子山陸上競技場等の滋賀県内の会場でJFLの試合観戦ができることがありますので、是非応援に駆け付けていただきたいと思います。

2種

野洲高校の全国大会優勝で幕を開けた平成17年は滋賀県の2種年代が全国的に注目される年となった。ビッグレイクをはじめとする県内人工芝の普及に伴い、今までよりスピーディーな攻守の切り替えが速い攻撃的なサッカーが主流となりつつある。その代表的な選手がU-21日本代表に選出された野洲高校の乾貴士選手である。この傾向は今後、人工芝で育った世代の若年選手達が2種年代になるとより顕著になるであろう。人工芝を含むピッチの整備は全国に先駆けて速さと技術の追求したサッカーを確立する絶好の機会であると言える。

高体連の大会では新人戦が優勝：野洲、準優勝：草津東、春季大会が優勝：水口、準優勝：守山北、秋季大会が優勝：野洲、準優勝：草津東という上位校で前年につづき野洲高校の活躍が目立った。野洲高校は校内に人工芝が設置され、今後の更なる活躍が期待される。上位校はビッグレイクや水ロススポーツの森に近く、人工芝での練習量も豊富であったことが上位進出の一因もある。

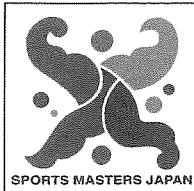
今後は3・4種年代の優秀選手が県外に流出していることを踏まえ、小中高社の一貫指導の流れを確立しなければならない。県内の2種チームには指導環境が整ったチームも多いので滋賀県内の3・4種年代の指導者、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いしたい。

3種

9月から10月にかけて行われた全日本ジュニアユースサッカー選手権大会（高円宮杯）滋賀県大会には、36チームの参加があり、8日間にわたる熱戦が繰り広げられました。優勝がFC SETA 2002 SHIGA。準優勝がJ-FORZA滋賀。という結果で、両チームが関西大会に出場しました。FC SETA 2002 SHIGAは、ヴィッセル神戸と対戦。J-FORZA滋賀は、全国優勝をしたガンバ大阪と対戦しました。両チームとも残念ながら1回戦で敗退しました。

12月には、「チャレンジ滋賀」を開催しました。この大会は、「出場機会の少ない選手」を対象とした大会で、相手チームの優秀選手を3名選び、選ばれた回数の多い選手には、優秀選手賞として、シューズケースと賞状が贈られます。この大会には、28チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。

2007年度からは、3種リーグを始めます。詳しいことは、3種役員会で協議していますが、3種の大会を活性化できるリーグにしたいと考えています。

シニア**2007年、ビッグレイクで全国大会が開催されます!**

-日本スポーツマスターズ2007びわこ大会-
2007.9.14(Fri)~9.20(Thu)

「日本スポーツマスターズ2007びわこ大会」が、いよいよ本年9月14日から20まで、県内13市において開催されます。日本スポーツマスターズは、スポーツ愛好者の中で、競技志向の高いシニア世代(男性40歳以上、女性35歳以上が基本)を対象とした全国で初めての総合スポーツ大会で、2001年に第1回大会が、宮崎県で開催され、今回の「びわこ大会」は7回目となります。本大会は、13競技、4協賛事業に選手、観客をあわせ、約12,000人の参加が予想されています。

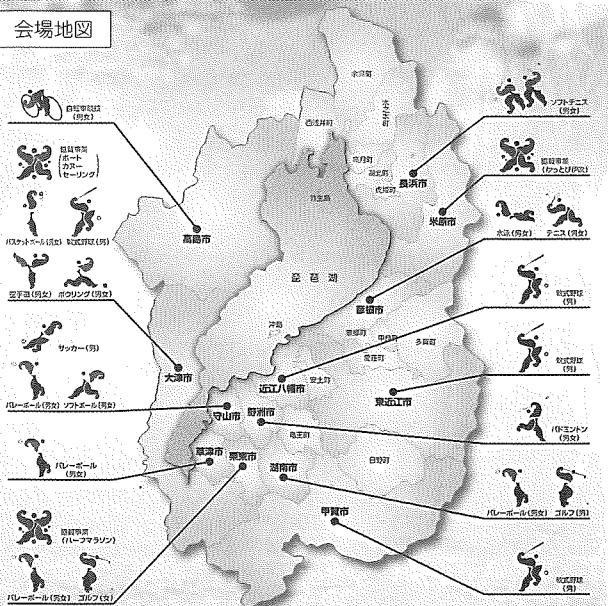
9月14日に、高円宮妃殿下、森喜朗日本体育協会会長、往年の名選手であるシンボルメンバーの出席のもと、前夜祭形式の開会式が「大津プリンスホテル」で開催され、競技は15日からスタートします。サッカー競技は、守山市の「野洲川歴史公園サッカー場(ビッグレイク)」が会場で、全国の予選を突破した15チームに地元滋賀県を加えた16チームが優勝を争います。競技方法は、16チームを4ブロックに分けた予選リーグを3日間に行い、4日目には各ブロックを勝ちあがった1位チームによる決勝トーナメント(準決勝、決勝)を行い順位を決します。

滋賀県チームは、2000年に宮城県で開催されたプレ大会に関西代表として出場しましたが、予選リーグ敗退でした。本大会に入り、昨年の「2006広島大会」に初出場しましたが、1勝2分のグループ2位となり、惜しくも決勝トーナメント進出を逃しました。現2007びわこ大会での優勝を目指して強化を図っています。

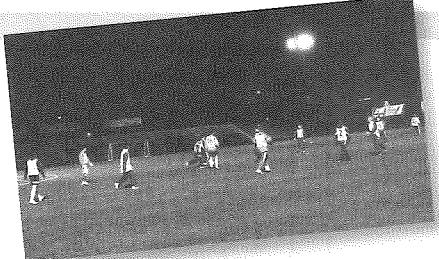
また、本大会では、シンボルメンバーによる「スポーツ教室」が開催されます。元全日本代表の北沢豪氏が子どもたちを対象に教室を開く予定となっています。

「日本スポーツマスターズ2007びわこ大会」の成功に向け、サッカー関係者はもとより、県民が一体となって参加される選手を歓迎し、また、会場へお越しいただき、ご声援くださるようお願いします。

会場地図



シニア ナイターリーグ



ママさんサッカー

昨年の7月より毎月第3月曜日の19時からビッグレイクで、35歳以上のシニアサッカーナイターリーグが開催されている。これは1種チームでは体力的に難しいが、まだまだサッカーを楽しみたいというシニア年代のサッカー環境を作るために企画されたものである。全国的に見て登録数が少ない滋賀県のシニア活性化と、今年9月に滋賀県ビッグレイクで開催される日本スポーツマスターズびわこ大会に向け、盛り上げるために開催されているが、7~12月まで開催された6回で、30歳代30人、40歳代30人、50歳代14人、60歳以上11人(延べ人数)の参加があり、最年長は75歳と好評である。今年から月2回(第2・4月曜日)となり、ますます盛り上がってきている。

対象 35才以上のシニア(審判や指導者、選手)および40・50・60代シニアのチームまたは個人参加が可能
レディースオーバー30のチームまたは個人の参加

会場 ビッグレイク(野洲川歴史公園サッカー場)

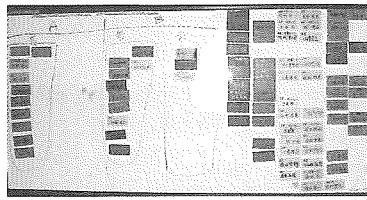
時間 毎月第2月曜・第4月曜 19:00~21:00
 1月8日、1月22日、2月12日、2月26日、3月12日、
 3月26日、4月9日、4月23日

保険 チームでスポーツ安全保険に加入、個人は1500円(年間分)を初回に徴収します。

参加費 1回当たり一人500円(当日徴収)

資格 年令制限のみ(自己申告)

規定 ハーフピッチ2面、小ゴール(5m)8人制、セルフジャッジ
 20-20-20分 自由な交代



▲参加者は年代別に名前を記入し、チームわけする



▲全国レディースエイトオープン大会の試合風景

0~30(30歳以上)のママさんを中心に、サッカーを楽しむこととママさんサッカーの普及を目的に、2006年5月から今年2007年3月までサッカーリーグ(湖南リーグ)が初めての試みとして開催されている。地域のサッカー好きなママさんの呼びかけで、栗東FCリプロムーンと守山市の2チーム、草津市の1チーム、大津市南郷の1チームの計5チームで、ホーム&アウェイ方式の総当たりリーグ戦を実施している。メンバーが足りないときは女子中学生も参加したりしながら継続させている。ママさんの大会としては、関西ママさんサッカー選手権大会、全国レディースサッカー大会関西大会が以前から開催されていて、今年度2006年11月に全国レディースサッカー大会レディースエイト(45歳以上)オープン大会に、滋賀県から初めて13名の選手が参加し、ママさんサッカーが少しづつ広がってきている。

滋賀県チーム

各の全国大会に出席!!

野洲高校

第85回 全国高等学校サッカー選手権大会
試合結果

1回戦 1月2日 1(0-0)0 真岡(栃木) 千葉・柏の葉競技場

2回戦 1月3日 1(0-1)4 八千代(千葉) 千葉・市原臨海競技場

大会優秀選手 乾貴士、田中雄大、荒堀謙次

メンバー

監督▶山本佳司
 部長▶水谷智宏
 コーチ▶岩谷篤人
 コーチ▶北村仁史

コーチ▶村田稔
 GKコーチ▶野田幸宏
 トレーナー▶櫻野哲也、山口由美子

番号	位置	氏名	学年	U-12	U-15
1	GK	瀧本 尚之	3	伴谷SSS	エルフ水口
2	DF	青木 亮都	2	野洲JFC	葉山中
3	DF	田中 雄大	3	三上JSC	ヤスクラブ
4	MF	荒堀 謙次	3	三上JSC	ヤスクラブ
5	DF	竹中島 直	3	大原SS	甲賀中
6	MF	芝 傑明	3	立花SC	立花ジュニオール
7	MF	廣瀬 直弥	3	河西SS	淡海
8	MF	村田 和哉	3	河西SS	淡海
9	FW	山田 幸平	3	セレッソ大阪	セレッソ大阪
10	MF	乾 貴士	3	セゾンFC	セゾンFC
11	FW	池田 卓也	2	FC鷺峰	京都Sレジョーネ
12	MF	岩崎 竜也	3	彦根FC	ヤスクラブ
13	DF	志水 克行	3	富士見SS	アズマ滋賀
14	FW	中武 真哉	3	野洲JFC	ヤスクラブ
15	MF	奥田 健斗	3	甲南第1SSS	甲南中
16	FW	長谷川敬亮	3	野洲JFC	ヤスクラブ
17	GK	横江 諒	1	山田JFC	セゾンFC
18	FW	坂本 一輝	1	石部南SSS	石部中
19	MF	木村 竜也	2	龜山SSS	彦根南中
20	GK	樺元 一弘	3	足原イレブン	葉山中
21	MF	向井 純純	3	矢倉FC	AC_SFIDA
22	MF	上田 大輔	1	豊郷SSS	セゾンFC
23	DF	濱口 由人	2	野洲JFC	野洲中
24	FW	松永 俊吾	1	瀬田南SSS	京都パープルサンガ
25	DF	西口 誠	1	志津SSS	AC_SFIDA

JOY FUTSAL CLUB KIMURA SPORTS

プーマカップ2007
第12回 全日本フットサル選手権大会

大会日程

- 1次ラウンド 1/26・27 (大阪・舞洲アリーナ)
- 決勝ラウンド 1/28 (大阪・舞洲アリーナ)
2/3・4 (東京駒沢体育館)



◎2007.1.14 関西リーグ
全節終了
参入1年目にして堂々の3位

◎2006.12.2 PUMA CUP 2007 第12回 全日本フットサル
選手権大会 関西大会
Bグループ1位で全国
大会へ

◎2006.11.19 PUMA CUP 2007 第12回 全日本フットサル
選手権大会 滋賀県予選
優勝

◎2006.12.22 関西フットサルリーグ参入戦
滋賀県勢初の関西リーグ参入決定。

メンバー

監督▶大谷純一／トレーナー▶藤岡 祐／コーチ▶袖木脇 享

番号	ポジション	名前	番号	ポジション	名前
12	FP	坪 勝則	14	FP	成田 淳
7	FP	猪田 暢仁	16	FP	濱口 雅
5	FP	大槻 泰弘	4	FP	仁賀 崇之
1	GK	澤田 貴宣	10	FP	大谷 純一
9	FP	潮崎 裕介	11	FP	馬場 知之
8	FP	大谷 真一	15	GK	布施 明朗
2	FP	齊藤 勝	18	FP	田村 順兒
13	FP	長束 卓			

2006 関西フットサルリーグ(5/14~1/14)で第3位!

順位	チーム名	勝	負	分	得点	失点	差
1	MAG'S FUTSAL CLUB	28	9	1	64	25	+39
2	CASCABEL KANSAI	27	9	2	44	20	+24
3	JOY FUTSAL CLUB	24	8	3	48	30	+18
4	高槻松原FC	19	6	4	36	25	+11
5	神戸クラブ	14	4	5	34	45	-11
6	カンカンボーラズ	13	4	6	31	36	-5
7	京阪フットサルブレイス funf bine	13	4	6	1	30	-45
8	K'ntetsu Futsal Club	11	3	6	2	30	-7
9	神戸大学フットサル部FORCA	11	3	6	2	20	-32
10	旭屋	11	2	6	2	21	-40
11	PFC SUPREME	10	2	5	22	35	-13
12	芦屋SCグリース	8	2	6	27	43	-16